

# 僕らのまわりには、おもしろいコトをやっている人が多すぎて これはもう発表して行くしかないって、そう思ったんだ。

フリーペーパー  
『ヒラツカニアン』編集長 笹尾 正巳さん

「何でフリーペーパーを発行しようと思ったの?」と最近になって質問されることが増えた気がする。

特に大きな志を持って始めたわけでもないし、ビジネスとして始めたわけでもない。どちらかと言えばその時の”ノリと勢い”で発行してしまった。というのが本音だと思う。

当初は平塚の飲食店を紹介するフリーペーパーとして発行しようと考えていたのだけれど、僕らヒラツカニアン編集部のみならずはすごく個性的でおもしろい活動をしている人がたくさんいて、その人達を特集して紹介したら面白い記事が出来るのではないだろうかと思った。というか紹介したいと思える人達が多すぎて、これはもう発表して行くしかないって。そう思った。

そしてフリーペーパーを発行していく事で、僕らがまだ知らない地元在住のおもしろい活動をしている人達に出会えるのではないかって。

そんな繋がりみたいなものを『ヒラツカニアン』という言葉に込めて発行していこうと思った。

僕らの発行しているフリーペーパー『ヒラツカニアン』は、平塚市を中心に湘南・西湘・県央地域のイベント情報や音楽・アート・スポーツ・環境・自然など、それらに関わる人を特集している。内容については具体的にテーマを決めて作ることもあるし、逆に何もテーマを決めずにその時その時のタイミングで作る事もある。取り上げる内容が様々なので「なるべく決まり事は少なく、自由に」っていうのを心掛けているのだけれど、今後はテーマを決めて作り込む方向に持って行きたいと思っています。



ヒラツカニアン編集部にて打ち合わせ



平塚でフリーペーパーを発行している  
笹尾 正巳さん



これまでに発行した『ヒラツカニアン』

特に物作りや絵を描いたり写真を撮ったりといった表現活動をしている人達を応援したいと思っていて、有名無名を問わず僕らがおもしろいと感じた事を取り上げて行こうと思っています。そして『ヒラツカニアン』を読んで、何かしら興味のある事があったら実際にその作品に触れてほしい。僕らが紹介する人達はほとんどが地元在住で、作品を身近で見たり聞いたり触れたりすることができる機会が多いと思う。今回の『たわわ』の表紙の壁画を描いている『shizentomote!』も地元在住の壁画アーティストだ。彼らの作品が平塚市桜ヶ丘のトンネルにある。地元の自治体からの依頼を受け、同じく壁画アーティスト『HITOTZUKI』と共同で制作した大作だ。



市内桜ヶ丘の壁画を制作している様子

農産物の地域生産地域消費(地産地消)と同じように、地元のクリエイターやアーティストの作品を地元の地域や市や町で使う。そしてその作品にみんなが触れる。そんな機会がもっともっと増えてほしいと思っています。

## MESSAGE

フリーペーパーを発行しようと思った時に、相談ののってくれる人達がたくさんいてくれた。手伝ってくれる、一緒に動いてくれるスタッフがいてくれた。編集や制作する技術があった。取材に協力してくれる人がたくさんいてくれた。配布に協力してくれるお店があった。それは必然なのか偶然なのかかわからないけれど、そんな不思議なタイミングでフリーペーパーヒラツカニアンは発行しています。この先、ヒラツカニアンがどういった形に変わって行くのかわからないし、もしかしたら変わらないかもしれないけれど。これを続けていったら何年か先にちょっとり素敵な事があるような気がする。ので、発行し続けて行こうと思います。

  
<http://www.hiratsukanian.com>